

平成 21 年 10 月 9 日
新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会
委員長 野邑 奉弘

処理方式検討結果報告書に係る新ごみ処理施設整備
基本計画検討委員会のまとめについて

四條畷市交野市清掃施設組合が計画する新ごみ処理施設整備事業の熱回収施設の処理方式について、新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会で協議した結果を下記のとおりとする。

記

新ごみ処理施設処理方式検討委員会から本委員会へ報告のあった処理方式検討結果報告書について、本委員会で協議を行った結果、「周辺環境の保全と調和」「安全な・安心できる・安定した・経済性に優れた施設」「外的要因による変動にも対応した適正な施設規模の計画づくり」「エネルギー回収システムの効率化」「循環型社会に向け、市民と行政の信頼関係の構築に寄与する施設」という施設整備コンセプトの実現の可能性が最も高く、四條畷市交野市清掃施設組合における最適な熱回収施設の処理方式は「ストーカ式焼却炉」とであると決定します。

しかしながら、この処理方式には処理方式検討結果報告書の総括に記載されている「最終処分場への依存」という課題もあります。

四條畷市交野市清掃施設組合は、この課題とともに、「周辺環境の保全と調和」においては周辺住民の理解が必要であるという本委員会の意見も十分に受けとめ、四條畷市、交野市とともに社会情勢を十分に見据えつつ、施設整備に努めるよう求めます。

以上